



2024年2月14日

各 位

会 社 名 グリーンランドリゾート株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 松野 隆徳  
(コード番号 9656 福証・東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役経営管理室長 佐伯 賢二

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、中長期的な企業価値向上に向け、資本政策および株主還元について、下記の事項を決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価

・資本コストと資本収益性のバランスについて

資本コストと資本収益性につきまして、当社の2023年12月期における株主資本コスト12.7%に対してROE（自己資本利益率）4.8%、WACC（資金提供者の期待収益率）7.4%に対してROIC（投下資本利益率）4.1%となっており、改善の必要がある状況となっております。

・市場評価について

PBR（株価純資産倍率）は2023年12月期末において0.75倍となっており、1倍を下回る状況となっております。

#### 2. 方針・目標

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題のひとつと認識し、経営基盤の強化を図りつつ、競争力強化のための設備投資の原資を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針といたします。

また、本日開示した「中期経営計画2026」の実現に取り組むことでPBR（株価純資産倍率）の向上を目指してまいります。

※具体的な経営数値目標については、本日開示しております「中期経営計画2026」をご覧ください。

#### 3. 具体的な取組み

以上のことを踏まえ、当社では、資本コストと株価を意識した次の施策に取り組めます。

- ① 主力の遊園地事業を中心とした新たな設備投資による集客施設の魅力の創出
- ② DX推進、効率的な運営経費支出による経営効率化の推進
- ③ 当社グループ事業にとって最も重要となる「人財」の確保と育成に向けた人的資本経営の推進
- ④ SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化
- ⑤ 配当性向30%以上の確実な実施
- ⑥ 年2回の株主優待を引き続き実施
- ⑦ IR関連情報の積極的な開示

※取組みの詳細については、本日開示しております「中期経営計画2026」をご覧ください。

#### 4. 業績目標および株主還元方針

##### (1) 連結売上高・営業利益等

	2019年12月期 (実績)※	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (計画)	2025年12月期 (目標)	2026年12月期 (目標)
連結売上高	8,359百万円	6,406百万円	6,700百万円	6,800百万円	7,300百万円
営業利益	684百万円	888百万円	630百万円	580百万円	810百万円
経常利益	691百万円	891百万円	620百万円	570百万円	800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	386百万円	463百万円	430百万円	370百万円	530百万円
ROE (自己資本利益率)	3.4%	4.8%	4.3%	3.6%	5.0%
PBR (株価純資産倍率)	0.49倍	0.75倍	—	—	—

◆2025年12月期(目標)につきましては、2026年12月期の九州のグリーンランド(遊園地)の開園60周年及び北海道グリーンランド遊園地の開園40周年の準備に向けた広告宣伝費等の費用を見込んでいるため2024年12月期(計画)より各利益は減少しておりますが、コロナ前の2019年12月期(実績)並みの業績を見込んでおります。

※2019年12月期(実績)の連結売上高等は収益認識基準適用前の数値となっております。

##### (2) 株主還元

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付け、安定的な剰余金の配当に配慮するとともに、今後の事業展開および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案のうえ、適正な配当を実施することを基本方針としております。

これを踏まえ、直接的な株主還元と中長期的な株価上昇による株主還元を目指し、配当性向につきましては、引き続き30%以上を目標として、利益成長を通じた安定的な配当を目指してまいります。

また、年2回の株主優待を引き続き実施し、自社ホームページなどによるIR関連情報の積極的な配信に取り組み、より多くの皆様に当社株式を保有頂くことを目指します。

なお、自己株式の取得は、事業環境や手元資金そのほかを総合的に勘案した上で検討いたします。

以 上